

つたのは通信

特定非営利活動法人 としま遺跡調査会

目白の森の太古の昔



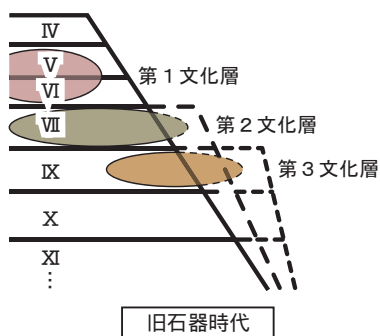
2008年夏、学習院大学目白キャンパスで計画された自然科学研究棟の建設に先立ち、遺跡の発掘調査が行われました。この発掘調査では、1万数千年前から3万数千年前にかけての旧石器時代の生活の痕跡が発見され、この場所に豊島区内でも稀な旧石器時代の遺跡が包蔵されていることが明らかになりました。

道具として用いられた石器のほか、焚火の跡と思われる炭化物や、調理に用いたとされる拳大の焼けた石が集中して出土する礫群、石を打ち割って石器を製作するときに生じる細かな石の屑などが出土しています。出土した場所は、南に神田川を見下ろす台地の縁にあたります。水を得るのに便利で、日当たり良好、眺望の優れたこの場所が昔の人々に好まれたのかかもしれません。



局部磨製石斧

地形変化と文化層の位置



旧石器時代の遺跡は、関東ローム層の中から出土しています。自然科学研究棟地区では時期の異なる3つの文化層（遺物が集中して出土する部分）があり、最も古い第3文化層は立川ロームの最深部であるIX層からX層上面にかけて包蔵されていました。ここからは局部磨製石斧が出土しており、武蔵野台地の礫として、最も古い段階に位置づけられるものです。

土層断面の観察から、周辺の地形の変化も知ることができました。ローム層はほぼ水平に堆積していますが、神田川が刻む谷に面した地表面が、地すべりや崩落を繰り返し起こしたため、斜めに地層が削り取られているのです。最も古い第3文化層の時代、斜面は現在よりも急な傾斜で、台地は南にせり出していたと考えられます。当時の台地の縁に遺跡が包蔵されていたため、後世の崩落によってその一部が失われたと考えられます。

学習院大学周辺遺跡は、1905年に、当時建設途中だった学習院の工事現場付近で、鈴木辰造という人物が土器を発見したことでその存在が知られるようになりました。さらに1979年には学習院大学の広瀬雄一

氏が北グランド近くの工事現場で黒曜石の剥片を採取しており、旧石器時代の遺跡がある可能性も指摘されました。

自然科学研究棟地区の調査は、遺跡の発見から100年以上経ってはじめて行なわれた本格的な発掘調査です。学習院大学と豊島区教育委員会はこの調査成果の重要性を多くの方に紹介するため、その成果の一部を学習院大学史料館で現在開催されている特別展「目白の森のその昔」で展示しています。（成田涼子）

平成22年度 学習院大学史料館特別展

目白の森のその昔

学習院と考古学 展

学習院大学史料館の特別展では、自然科学研究棟の出土遺物のほか、史料館が収蔵する考古学関連資料を展示しています。鳥居龍三らと交流があった華族阿部正功が残した調査記録や書簡などの資料、史料館が教材として収集した考古資料、学習院高等科史学部が行なった古墳調査の出土遺物など、「学習院」「考古学」をキーワードに、様々な資料を見学することができます。

Site 1

《会場》学習院大学史料館展示室（北2号館1階）
《会期》平成22年4月5日（月）～6月5日（土）
平日 12:00～17:00
土曜日 10:00～17:00

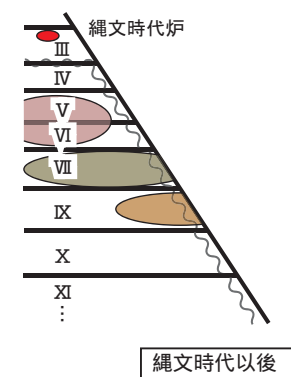
《閉室日》日曜日・祝日・5/15（土）

《特別開室日》

4/18（日）10:00～16:00
4/29（木・祝）12:00～17:00
5/14（金）10:00～18:00

Site 2

「学習院の発掘からみる考古学の歴史」展
《会場》豊島区民センター2階「ふれあい交流サロン」
《会期》3月6日（土）～6月5日（土）
9:00～20:00 期間中無休



発掘調査は炎天下のなか行われました

勤労福祉会館主催

「考古学でアプローチ！ 豊島区を探る」受講生募集中

毎年秋に区立勤労福祉会館（（財）としま未来財団）が主催している文化カレッジが、今年は全10回の講座となりました。座学の講義だけでなく、毎年好評のフィールドワーク、今回はバスツアーも企画しております（※別途実費がかかります）。旧石器時代から江戸時代までの歴史を最新の遺跡調査成果を織り交ぜた講座で、豊島区の歴史を学んでみませんか。

申込・お問合せ： 勤労福祉会館 〒171-0021 豊島区西池袋 2-37-4 : 03-3980-3131

「考古学でアプローチ！ 豊島区を探る」全10回 定員12名 費用10,000円（別途実費あり）
期間：2010年5月8日～2011年3月12日 毎月第2土曜日 14～16時（8月除く）

発掘調査の成果が報告書となりました

『長崎並木Ⅱ』は、2008年11月におこなった長崎一丁目周辺遺跡・福嶋家地区の発掘調査成果報告書です。福嶋家地区の調査では豊島区内では初となる古墳時代から古代にかけての竪穴住居跡が発見されました。竪穴住居内に遺存していた土器を調べてみると、この住居が利用されたのは7世紀末から8世紀初頭にかけての頃であったことがわかりました。さらに長崎一丁目周辺遺跡の別地区で出土している遺物の調査を進めると、ほかに2つの地区で同じ時期の土器片が出土していました。律令国家が形作られていく7世紀末から8世紀初頭頃の長崎一丁目周辺遺跡で人々の活動が活発化したことが明らかになってきたのです。古代日本の画期において豊島区长崎の地でどのような歴史的展開があったか。今後の調査でさらなる解明が期待されます。

(山田俊輔)



「かまど」のある住まい(つたのは通信第5号2009年)でご紹介した、住居跡の発掘調査。



本郷通りのしたから現れた「日光御成道」。調査は真冬の夜間に行われました。

『染井XⅣ』は、以前「発掘調査は眠らない」(つたのは通信第2号)2008年)でご紹介した、駒込駅前前で実施した夜間発掘調査の正式報告書です。本書では、この発掘で何が発見され、どのような遺跡であったのかが具体的に述べられています。発掘成果として真っ先に挙げられるのは、江戸時代の「日光御成道」が発見されたことでしょう。日光御成道とは、かつて將軍家が日光東照宮へ参拝する際に使用した、日光街道へと連なる文字通り「御成りの道」です。また、庶民にとっても江戸市中と郊外を結ぶ重要な道で、都道455号「本郷通り」として現在も主要な幹線道路の一つとなっています。道路拡幅工事や地下鉄建設をはじめ、これまで激しい開発にさらされてきたにもかかわらず、江戸時代の道路跡が部分的にせよ残されていたことは、まさに奇跡と言えるかもしれません。

(宮川和也)

数多くの図書をご寄贈いただきました

昨年度(2008年10月～2009年9月)に、多くの機関や団体・個人の方から図書をご寄贈いただきました。以下に記して感謝申し上げます。(五十音順、敬称略)

青森県教育委員会、茨城県水戸市教育委員会、追川吉生、大阪府河内長野市教育委員会、大八木謙司、加藤建設(株)、神奈川県茅ヶ崎市教育委員会、(株)武蔵文化財研究所、岐阜県瑞浪市陶磁資料館、小平市教育委員会、埼玉県入間郡三芳町教育委員会、埼玉県大井町遺跡調査会、埼玉県さいたま市遺跡調査会、埼玉県飯能市教育委員会、埼玉県比企郡小川町教育委員会、埼玉県鶴ヶ島市遺跡調査会、埼玉県ふじみ野市教育委員会、財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所、財団法人瀬戸市文化振興財団、財団法人枚方市文化財研究調査会、笹田朋孝、新宿区教育委員会、杉並区教育委員会、世田谷区教育委員会、大成エンジニアリング(株)、調布市教育委員会、豊島区教育委員会、豊島区立郷土資料館、文京区教育委員会、奈良大学、新潟県十日町市教育委員会、新津涼子、橋口定志、山口県下関市立考古博物館、両角まり、山形県米沢市教育委員会、(有)吾妻考古学研究所、和歌山県有田川町教育委員会



ソボクな疑問、お答えします

教えて！ イセキ先生！！

登場人物



伊関マモル先生
としま文化大学講師。考古学の専門家だが、講師としては新米。得意分野は弥生・江戸時代。

染井ヨシノちゃん

としま文化大学1年生になったばかりの女の子。生活文化史専攻のため、「考古学者」=「インディ・ジョーンズ」だと思っている。



～ 遺跡から小判は出る？ 出ない？！ ～

イセキ先生～！ さっきの授業で言っていた江戸時代の遺跡から、小判って出るんですか？



うーん、残念ながら出土することは、ほとんどないなあ。なんで遺跡から小判が出ると思ったのかな、ヨシノちゃん？

え？ だって、江戸時代なら甕から小判がザクザクと出るものじゃないんですか？ たまに新聞とかに載ったりもするし・・・。



それは珍しいからだよ。よく考えてごらん、ヨシノちゃんが江戸時代の人だったら、そんな大金を埋めたまま忘れたりするかな？

わかった！ 埋めても、全部使っちゃうから遺跡からは出てこないんだ！ 「江戸ッ子は、宵越しの銭は持たねエ！」ってことですね！



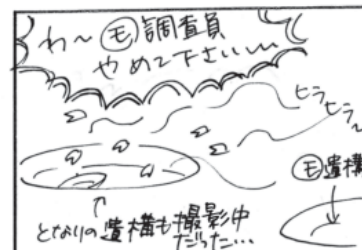
い、いや、蔵とかもあるし、そもそも埋めたりしないと言ってもらいたいなあ・・・。

(登場人物・機関はフィクションで実しません)

かんぱれ
毛調査員



「やはり花見
だよな...」
うん



桜の花は散り際こそ美しい...、なんて言っているヒマはありません。花びらは地面に落ちると取れにくいんです。毛調査員、やめてください！！(笑)

【編集後記】

新コーナー、「教えて！イセキ先生！！」はいかがだったでしょうか。伊関マモル先生は、みなさんの素朴な疑問をお待ちしています。 [担当：Ⓜ]

編集・発行



特定非営利活動法人
としま遺跡調査会

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨3-8-9 巢鴨複合施設201号室

Tel・Fax 03-3915-6962

E-mail tics389@a.toshima.ne.jp

ホームページアドレス：http://www.toshima-iseki.org/

「つたのは通信」の由来：蕨は大きな樹ではありませんが、生命力が非常に強い植物です。この蕨の葉が周囲の樹木や建物につたい茂るように、多くの人に遺跡の楽しさ、大切さを知ってもらいたいとの願いを込めて会報の名としました。また、染井遺跡を代表する大名屋敷である津藩藤堂家の家紋としても、馴染み深い植物です。

題字：湯澤和子

ロゴデザイン：石原幸

イラスト：千葉弘美・菅沼晶子

マンガ：Ⓜ